

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026 年 3 月 19 日				
社会福祉法人花畑福祉会 HANAFUKU						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		広々としたプレイルームと、指導訓練室があるので、適切な基準で行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童の人数に応じて、適切な職員の人数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	運動を行う部屋、机上課題を行う部屋が分かれており、物を置く場所は構造化しています。	バリアフリーに関しては、当事業所は2階にある為、構造上難しくなっております。また、現在肢体不自由のお子さまの利用はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃、消毒等は行っております。また、こまめな換気、空気清浄機等を利用しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パーティションで区切る等の環境を整えています。また、静養室もあるので、配慮した環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		利用児童の振り返りや、打ち合わせ等を出動した全職員で行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の回答に対し、不明点、不安点等に対しての解消を図ります。また、職員全体で共有して改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に行う職員会議を始め、毎日の振り返り等で機会を設け業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			必要に応じて適切に対応します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内、法人内での研修を設け参加しております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		個別支援計画をもとに、個にあった支援プログラム、または小グループの支援プログラムを作成・公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		児童発達支援管理責任者や指導員とともに、保護者のニーズに応じて計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理責任者とともに指導員から見た発達状況を分析し、児童の最善の利益を考慮して行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画書のもと、支援記録等を用いながら支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		児童の発達段階に応じて指導計画を立案し、支援しています。状況に変化があった際には、その都度対応しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童の特性により、子どもの育ちに必要な支援を5領域に沿って設定しています。また、連携支援として、保護者様の許可を得たうえで保育園等との共有を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		定期的に行う職員会議で、立案、改善を行います。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		都度、児童の進捗具合を確認しながら変更を行っています。必要に応じて小グループも取り入れ、集団での練習を取り入れてます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		基本個別で行っておりますが、活動の中に小グループも取り入れて活動をおこなっています。その成長に応じて計画書計画書を作成し、目標にむかって支援していきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前には必ず職員間で打ち合わせを行い、引継ぎや役割分担の確認を密に行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後に、一人一人の記録を行い、その際振り返りや気付きを共有しています。また、その場にはない職員も共有出来るよう、共有事項の記録を取っています。	支援終了後に十分な打ち合わせ時間を確保できない日があるため、当日中に振り返り行える体制作りが課題です。後日共有出来る場合でも情報の漏れや遅れが生じないよう、記録方法や情報共有の仕組みをさらに充実させて行く必要があります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		都度、支援記録を残しています。また、日々の振り返りや、気付きを共有し改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に、保護者と面談を行い、ニーズに応じて児童発達支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		家族面談にて保護者のニーズを伺いながら支援を行い担当者会議など開かれた際には、積極的に参加します。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		市の連絡会議等に積極的に参加し、連携等を図っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		家族面談にて保護者のニーズを伺いながら支援を行い担当者会議など開かれた際には、積極的に参加します。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者のニーズに併せて対応をしています。必要時には、就学前の提出書類において、作成のお手伝いをして小学校への申し送りが出来るようにしていきます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		機会があれば参加します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		現在交流はありませんが、今後機会があれば検討していきたいと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お迎え時や、連絡帳等でのやり取りで細かくお伝えしています。また、連絡ツールとして、公式ラインにて気軽に連絡が取れるよう配慮しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	親子レクリエーションなどの開催を行っています。また、支援中にお子さまの様子をみながらアドバイスなどを行っています。	ペアレントトレーニングはまだ未開催ですが、今後行っていく予定です。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に担当職員が丁寧に説明させていた いています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者と面談を行い、ニーズに応じて個別支援計画書を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者に計画書を提示しながら、個別支援計画を同意のサインをいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の日頃の様子や変化など観察しながら、定期的に面談や相談を行っています。必要であれば家族支援や子育てサポート支援を行います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	親子レクリエーションなどの開催を行っています。その際に自由時間を設けたりし保護者同士で交流する機会を設けています。	行事は職員体制や参加人数の都合もあり、年1回程度の開催にとどまっているため、交流の機会が十分とは言えません。保護者会乃開催も検討していますが、現時点では、実施に至っていません。今後は開催方法や、内容を工夫し、保護者同士やきょうだい同士が継続的に交流できる機会を増やせるよう検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやSNSなどを活用し、情報を発信していきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの棚保管しております。また、個人情報書類等はシュレッターにて破棄しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		構造化されており、そのほかにも、必要に応じて意思表示カードや資格情報で分かるように情報伝達をしています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在交流はありませんが、今後機会があれば検討していきたいと思っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		契約時に担当職員が丁寧に説明させていた いています。また、職員間でも研修等を通し共有しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、法人内で行われている様々な訓練も参加しています。また、定期的に研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時のフェイスシートでの確認や、日頃から保護者との情報共有を密にとり、情報を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	おやつ提供は行っておりません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		法人内の月1回行われる訓練に参加しています。また、研修もあわせて行った上で、それを活かし支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に丁寧に説明を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ケガ、事故等があった際にはヒヤリハットを作成し、職員間で共有し再発防止に努めています。また、リスクマネジメント等の研修を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員会議や研修にて虐待防止について周知徹底しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約時に説明のほか、研修等を通し周知徹底しています、	